

# 憧憬の故郷

(昭和五十年暮歌)

佐藤守君 作歌

関川哲夫君 作曲

## 一

「汝が故郷は何処にありや」  
熱き血潮に身は溢れども  
希望を胸に行方も知れず  
朔風に身を寄せ漂泊い出でん

## 二

聳ゆるボプラは何をか象徴し  
遙かな大地は何語るらん  
渺茫の地に理想を秘めて  
真摯の道を歩みゆかん

## 三

逍遙の詩静寂に透り  
曠野を一人ゆく吾侪めば  
日輪幽寂に手稲の端にて  
朱に染まらん哉原始の森は

## 四

嗚呼寮友よ夕の瞑想  
己身に嘆けども憂愁はやまず  
白銀の季節寮舎に在りて  
熱き心を語り明かせよ

## 五

光幽けき憧憬の故郷  
霞静かに流れ渡りて  
新緑にみる自然の黙示  
北溟の大地は我が故郷か